

# スマートフォンで豊かな暮らしを



出張スマホ教室を受講する女性部員

## 従来型携帯が使えなくなる

現在スマートフォンへの移行が進んでいる。これは、多くの従来型携帯（ガラケー）が使用している3G回線サービス終了に伴うものだ。早い携帯会社では今年の3月末で終了するところもある。また、新規でのガラケー購入やガラケー修理サービスなども終了してきている。よって、3G回線を利用しているガラケー所有者は、4G回線以上を使用しているスマートフォンへ移行しなければならない。

これを受け、女性部ではガラケー利用者のスマホ移行やスマホ初心者のスキルアップを目的に「出張スマホ教室」を当JA本所で開催し、部員16名が参加した。ドコモショップオンタウン弘前樋の口のスタッフ3名が講師として来協し、基本操作などをレクチャーした。

今月号では、出張スマホ教室で学んだ一部を抜粋してスマホの基礎知識と魅力を伝えて行きたい。

## ◆ ガラケーとパソコンの良いところ取りをしたのがスマートフォン

(略してスマホ)

SMART (賢い) + PHONE (電話)



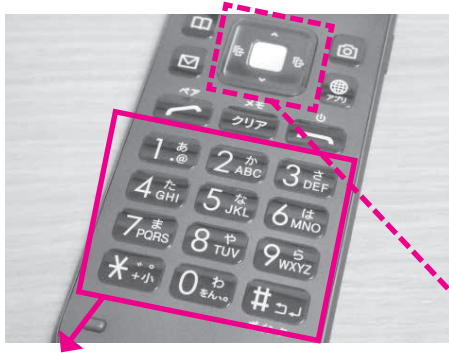
## スマホの操作方法は？

ガラケーでは、文字を打つ時や画面を進んでいくとき、ボタンを押して操作していた。しかし、スマートフォンにはそのボタンが無い。一体どのような操作をするのだろうか。

スマホ本体には電源ボタンや音量ボタン、ホームボタンなど3〜4つあるのみで、後は画面上で全て操作する。

スマホで文字を打つ時は、画面上に出たキーボードをタップし、画面を進む時にはスライドして進んでいく。そして、ガラケーにはなかった「ピンチ」という操作があり、画面を自分好みの大きさに拡大縮小することが出来る。

また、ホームボタンというボタンがあり、自分が誤った操作をした時や、ネットを見ている途中でメールが来たなどで画面を切り替えるときに使う。また画面を開きすぎてスマホの中で迷子になったときに始めの画面に戻る便利なボタンでもある。



スマホ特有の操作方法

### プレス (タップ)

画面に指を軽く触れてからそのまま押し込み、指を離します。押し込んだ時点で操作が有効になります。

### スライド (スワイプ)

画面に指を軽く触れたまま目的の方向に動かします。画面をスクロールするときなどの操作です。

### ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり (ピンチアウト)、狭くしたり (ピンチイン) します。画面の表示を拡大したり、縮小したりするときの操作です。

拡大する      縮小する



ホーム画面にする操作は機種によって様々

◆ スマホの機能で生活を便利に

◇ 写真や動画が綺麗に撮れる

ガラケーにもカメラ機能はついているが、スマホに搭載されたカメラは画質が良く、連続撮影や動画撮影までスムーズにこなす。今まではデジカメとビデオカメラを両手に持って子どもや孫の撮影にいそんでいたが、現在はスマホ1台ですべてをこなしてくれる。



被写体をタップしなければピントが合わない



タップすると四角いマークが出てピントが合う

◇ 地図アプリで迷わず目的地へ

知らない土地へ出かけて目的地を目指す場合、自動車であればカーナビを使って向かうことが出来るが、電車や徒歩で向かう場合は時刻表や地図などを必要とする。

スマホでアプリ（パソコンではソフトに当たるもの）を入手し、目的地を入力するだけで交通手段や移動時間などを表示してくれるほか、目的地までの道案内をしてくれる。



目的地までの乗り継ぎなどを細かく案内

◇ 多様なアプリを取得して自分好みのスマホへカスタマイズ

スマホには他にも様々なアプリが存在しており、JAバンクやJA共済でも便利なアプリを提供している。

また、天気予報やキャッシュレス決済、各店舗のポイントカードやお得な情報など、自分の欲しい情報が入手できるアプリを取得してカスタマイズできるのが、スマホの醍醐味である。



JA共済アプリで契約情報等の確認可能



JAバンクアプリで通帳残高や取引履歴も見れる

### ◇音声で簡単検索

インターネットやメールをした  
いが、文字を打つのが苦手な人向  
けに、音声による入力できるのも  
スマホの魅力。

入力画面には左図のようなマイ  
クのマークがあり、それを押して  
調べたい項目を話すだけで検索し  
てくれる。

会話の様に話しかけても検索し  
てくれるが、単語で話しかける事  
でさらに検索精度が上がるという。



### スマホって意外と簡単

同教室を終えた部員らのスマホ  
に対する印象は変わり、「どんな  
違う機能を使ってみたい」「レベ  
ルアップした機能を使ってみた  
い」「テレビ電話の方法を教えて  
」などの感想や要望があり、初めに  
抱いていた「スマホは操作が難し  
そう」という印象は払拭されたよ  
うであった。

参加した田澤真由美部長は「ス  
マホについて不安に思っている人  
に寄り添った教室で、とても良  
かった。レベルアップした教室の  
開催を期待している部員が多か  
たので次回の開催も視野に入れて  
いきたい」と意気込んでいた。

JAでも、生活に寄り添った情  
報をより多くの人に知って頂くた  
めに、スマホ教室やスマホにつ  
いての要望に添えていきたいと思  
いますのでお気軽にお問い合わせ下  
さい。

### JAではこんなこともやっています

2020年4月号で紹介し  
たメッセージングアプリ  
「TELEGRAM」を利用し、組  
員や地域の方に情報を発信して  
約2年。多くの利用者から好評  
の声がある。「繁忙期に選果基  
準をその場で見れるのは助か  
る」「地域の広報無線が聞こえ  
にくい場所でもプッシュ通知  
をしてくれるから便利」など、  
必要な情報が必要な場所で見  
れることがこのアプリの魅力  
である。

そして現在、新型コロナウイルス  
感染拡大の影響から、大勢  
が集まる研修が出来ない  
中、研修の動画を撮影して配信  
している。これは、コロナ禍に  
対応している他に、平日の日中  
に行われている巡回講座や冬期  
講座、各種研修会の様子を兼業  
農家の方にも知ってもらう事が  
可能となる。

こうした情報発信を受け取っ  
てもらう為にも、スマホへの移  
行を勧めている。



巡回講座もWEBで動画配信予定



スマホでどこでも研修動画を視聴できる